

○ G3(GRIサステナビリティ・リポーティングガイドライン)対照表

項目	指標	記載すべき主な事項		「CSR報告書2013 (WEB)」 における掲載の有無
1. 戦略および分析				
	1-1	組織にとっての持続可能性の適合性と、その戦略に関する組織の最高意思決定者の声明	○	●P4~P6 (社長メッセージ)
2. 組織のプロフィール				
	2-1	組織の名称	○	●P97 (会社概要)
	2-2	主要なブランド、製品またはサービス	○	●P97 (会社概要) ●P98 (グループ会社一覧)
	2-3	主要部署、事業会社、子会社および共同事業などの組織の経営構造	○	●P97 (会社概要) ●P98 (グループ会社一覧)
	2-4	組織本社の所在地	○	●P97 (会社概要)
	2-6	所有形態の性質および法的形式	○	●P97 (会社概要)
	2-7	参入市場 (地理的内訳、参入セクター、顧客および受益者の種類を含む)	○	●P97 (会社概要) ●P98 (グループ会社一覧)
	2-8	以下の項目を含む組織の規模 ・従業員数 ・純売上高 (民間組織について) あるいは純収入 (公的組織について) ・負債および株主資本に区分した総資本 (民間組織について) ・提供する製品またはサービスの量	○	●P97 (会社概要)
	2-9	以下の項目を含む組織の規模、構造、所有形態に関して報告期間中に生じた著しい変更 ・施設のオープン、閉鎖および拡張などを含む所在地または運営の変更 ・株式資本構造およびその他の資本形成、維持および変更業務	-	該当なし
	2-10	報告期間中の受賞歴	-	該当なし
3. 報告要素				
報告書のプロフィール	3-1	提供する情報の報告期間 (会計年度/暦年など)	○	●P2 (対象期間)
	3-3	報告サイクル (年次、半年など)	○	●P98 (裏表紙)
報告書のスコープ及びバウンダリー	3-4	報告書またはその内容に関する質問の窓口	○	●P98 (裏表紙)
	3-6	報告書のバウンダリー (国、部署、子会社、リース施設、共同事業、サプライヤーなど)	○	●P2 (対象範囲)
	3-7	報告書のスコープまたはバウンダリーに関する具体的な制限事項を明記する。	○	●P2 (対象範囲)
	3-8	共同事業、子会社、リース施設、アウトソーシングしている業務及び組織間の比較可能性に大幅な影響を与える可能性があるその他の事業体に関する報告の理由	-	該当なし
	3-9	報告書内の指標およびその他の情報を編集するために適用された推計の基となる前提条件及び技法を含む、データ測定技法及び計算の基盤	○	●P2、P18、P19、P20、P21 (グラフ脚注/目標に対する進捗状況/算出方法について)
	3-10	以前の報告書で掲載済である情報を再度記載することの効果の説明、およびそのような再記述を行なう理由 (合併/買収、基本となる年/期間、事業の性質、測定方法の変更など)	-	該当なし
	3-11	報告書に適用されているスコープ、バウンダリーまたは測定方法における前回の報告期間からの大幅な変更	-	該当なし
保証	3-13	報告書の外部保証添付に関する方針及び現在の実務慣行。サステナビリティ報告書に添付された保証の範囲および基盤を説明する。また報告組織と保証の提供者との関係を説明する。	○	●P94 (第三者保証報告書)
4. ガバナンス、コミットメントおよび参画				
ガバナンス	4-1	戦略の設定または全組織的監督など、特別な業務を担当する最高統治機関の下にある委員会を含む統治構造 (ガバナンスの構造)	○	●P38 (環境マネジメント体制) ●P48 (安全マネジメント体制) ●P48 (安全推進委員会) ●P89, 90 (CSRマネジメント)
	4-3	単一の理事会構造を有する組織の場合は、最高統治機関における社外メンバー、非執行メンバーの人数を明記する	○	●P90 (コーポレート・ガバナンス体制)
	4-8	経済的、環境的、社会的パフォーマンス、さらにその実践状況に関して、組織内で開発したミッション (使命) およびバリュー (価値) についての声明、行動規範および原則	○	●P3 (グループ理念、行動指針) ●P17 (基本的な考え方と目標)
外部イニシアチブへのコミットメント	4-12	外部で開発された、経済的、環境的、社会的憲章、原則あるいは組織が同意または受諾するその他のイニシアチブ	○	●P87 (一般事業主行動計画について)
	4-13	組織が以下の項目に該当するような、(企業団体などの) 団体および/または国内外の提言機関における会員資格 ・統治機関内に役職を持っている ・プロジェクトまたは委員会に参加している ・通常の会員資格の義務を超える実質的な資金提供を行っている ・会員資格を戦略的なものとして捉えている	○	●P79 (国際機関を通じた世界への貢献)
5. マネジメント・アプローチおよびパフォーマンス指標				
側面: 経済的パフォーマンス				
中核	EC2	気候変動による、組織活動に対する財務上の影響およびその他のリスクと機会	○	●P4~P6 (社長メッセージ)
側面: 間接的な経済的影響				
	マネジメント・アプローチに関する開示	・ 環境側面の開示 (原材料・エネルギー・水・生物多様性・排出物、廃水および廃棄物・製品およびサービス・コンプライアンス、輸送、全般) ・ 目標とパフォーマンス (環境的側面に関連するパフォーマンスに関する組織全体の指標) ・ 方針 (環境側面に係る組織の全体的コミットメントを明示する組織全体の方針を簡潔に記載する、あるいはこれらが公表されている場所を記載) ・ 組織の責任 (環境的側面の経営責任を持つ最上位の役職、あるいは、これらの側面に関して、上級のレベルでの経営責任がどのように分担されているかを説明する) ・ 研修および意識向上 (環境側面に関連した研修および意識向上に関する手順) ・ 監視およびフォローアップ (サプライチェーンに関連するものも含めた、監視、是正および予防措置に関する手順)	○	●P17 (基本的な考え方と目標) ●P19 (環境目標に対する進捗状況) ●P89, 90 (CSRマネジメント)
側面: 原材料				
中核	EN1	使用原材料の重量または量 ・ 外部の供給者から購入したものと内部の供給源から得たもの (自社生産、採掘活動) など、使用された全ての材料を明記する。 ・ 使用した再生不能な原材料 (鉱物、金属、石油、ガスや石炭など短期間に再生できない資源) 等	○	●P18 (グループ全体の環境負荷) ●P20 (エネルギーフロormap)
側面: エネルギー				
追加	EN5	省エネルギーおよび効率改善によって節約されたエネルギー量 ・ エネルギー使用の削減とエネルギー効率化の取り組みによって実現したエネルギー総節約量を明記。ただし生産能力縮小やアウトソーシングにともなうエネルギー使用量減少分は対象とならない。	○	●P24 (情報システムの省エネルギー化に関する取り組み)
側面: 排出物、廃水および廃棄物				
中核	EN16	重量で表記する直接及び間接的な温室効果ガスの総排出量	○	●P18 (グループ全体の環境負荷) ●P21 (CO2排出量の推移)
中核	EN19	重量で表記するオゾン層破壊物質の排出量	○	●P35 (オゾン層破壊物質削減・代替)
中核	EN22	種類および廃棄方法ごとの廃棄物の総重量	○	●P18 (グループ全体の環境負荷) ●P27 (駅・列車からのゴミ回収と再生) ●P28 (総合車両センターからのリサイクル) ●P28 (設備工事における廃棄物の削減)
側面: 製品およびサービス				
中核	EN26	製品およびサービスの環境影響を緩和する率先取り組みと、影響削減の程度	○	●P19 (環境目標に対する進捗状況)
側面: 遵守				
中核	EN28	環境規制への違反に対する相当な罰金の金額および罰金以外の制裁措置の件数	○	●P39 (環境に関する規制の遵守状況)
側面: 総合				
追加	EN30	種類別の環境保護目的の総支出および投資	○	●P42 (環境会計と経営指標)
側面: 不正行為				
中核	SO2	不正行為に関連するリスクの分析を行なった事業所単位の割合と総数	○	●P91 (業務を適正に行うための仕組みの強化)
側面: 顧客の安全衛生				
中核	PR1	製品およびサービスの安全衛生の影響について、改善のために評価が行なわれているライフサイクルのステージと、その手順の対象となる主要な製品およびサービスのカテゴリーの割合	○	●P45~58 (安全)
側面: 製品およびサービスのラベリング				
追加	PR5	顧客満足度を測る調査結果	○	●P61 (顧客満足度調査)